

飯能市公共交通ニュース《号外》



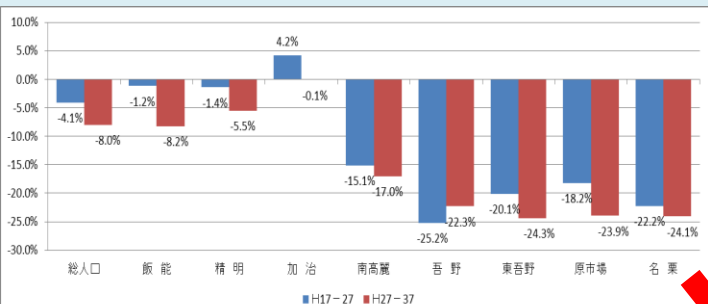
地域公共交通を取り巻く市の現状についてお知らせします。

【人口減少及び少子高齢化の進行】

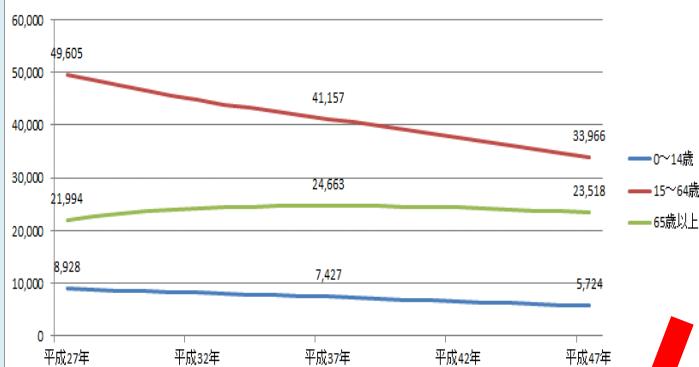
市の人口減少・少子高齢化は、公共交通の継続した運行に大きな影響をもたらしています。特に市の中心部から遠い路線バス及び鉄道の沿線地区の人口減少・少子高齢化は深刻であり、今後、通勤・通学で公共交通を利用する可能性のある生産年齢人口も右肩下がりで減少していくと推測されます。

○各地区の人口状況

| | 総人口 | 飯能 | 精明 | 加治 | 南高麗 | 吾野 | 東吾野 | 原市場 | 名栗 |
|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| H17-27 | -4.1% | -1.2% | -1.4% | 4.2% | -15.1% | -25.2% | -20.1% | -18.2% | -22.2% |
| H27-37 | -8.0% | -8.2% | -5.5% | -0.1% | -17.0% | -22.3% | -24.3% | -23.9% | -24.1% |



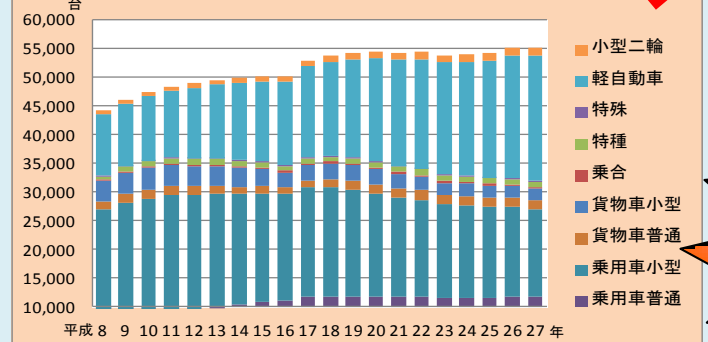
年少・生産年齢・高齢別の人口推移



【自家用車での移動が主体に】

人口減少とは反比例し、自動車の登録台数については年々増加しています。朝・夜間には、通勤・通学の送迎車が、飯能・東飯能駅のロータリーに並び、路線バスの運行の支障となっています。

自動車登録台数の推移



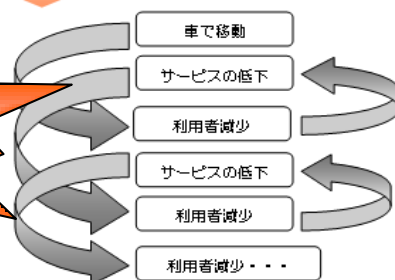
○路線バスを取り巻く社会的な背景

利用者数の減少による減収 ⇒ 赤字運行

路線の廃止・縮小、運行本数の減少（サービスの低下）

- 全国的にも・・・
- 乗合バス ⇒ 過去5年間で約8,160 kmの路線が完全廃止
- 鉄道 ⇒ 過去5年間で7箇所（約105 km）の路線が廃止

公共交通がさらに減少
負のスパイラル



【飯能駅及び東飯能駅周辺に安価な駐車場の増加】

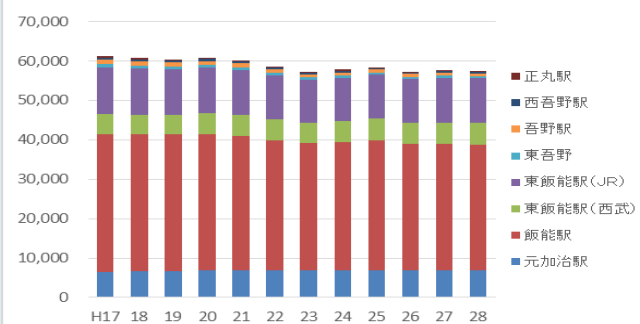
駅周辺に20件を超えるコインパーキングが設置されています。1,000円以内の金額で24時間駐車することも可能となっており、鉄道を利用するために、路線バスでなく自家用車を使用しやすい環境となっています。



【鉄道の現状・課題】

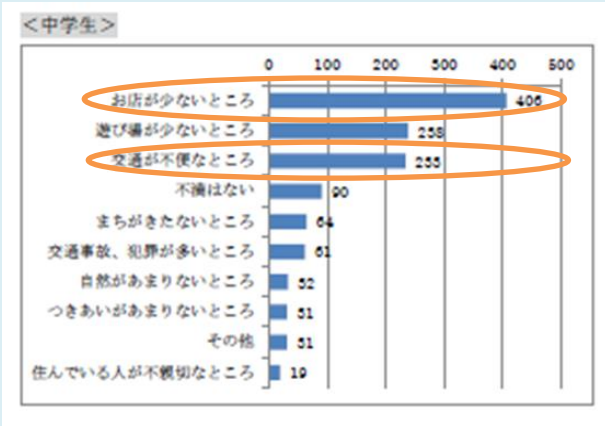
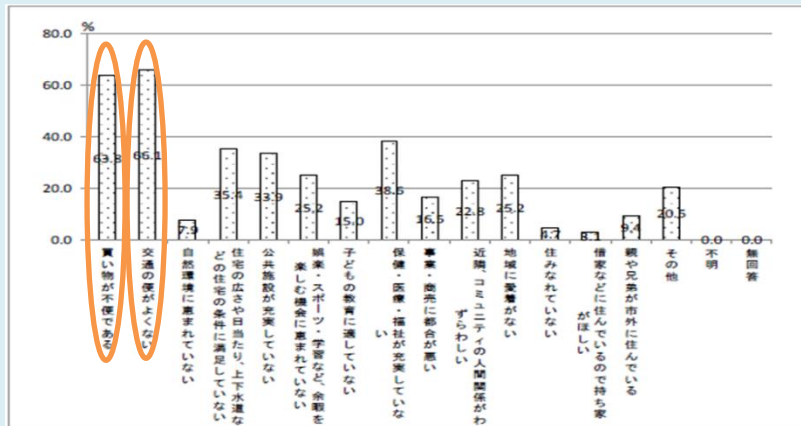
鉄道駅の乗降客数については、東飯能駅を除いたすべての駅で減少している。特に、山間地域のすべての駅において、H17年から26年までの10年間、減少率が20%から40%と大幅に減少している。

駅別乗降客数（1日平均）



【飯能市市民意識調査の結果から】

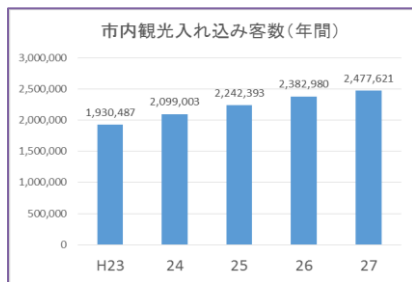
平成 26 年に実施した第 5 次総合振興計画策定のための「市民意識調査」では、「暮らしやすさ」の項目の「今後も現在のところに住み続けたいか」の質問に対して、公共交通が乏しい山間地域の住民は、定住意向が低いという結果でした。また「できれば移転したい、移転したい」と回答した人の理由は、「買い物に不便」「交通の便が良くない」が上位を占めるという結果でした。



【市内における公共交通の新たな需要】

○観光入込客数の増加

近年、観光を目的とした観光客の来訪が増加している。



○茜台・美杉台周辺の利用増

- ・工業団地で操業する企業従業員による路線バスの利用の増加
- ・茜台 1 丁目及び美杉台 6 丁目への住宅建設が進む。



○「メツア」オープン

- 「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」リニューアル
 - ・宮沢湖を中心としたエリアに北欧のライフスタイルとムーミンの世界を体験できる施設が 2018 年秋開業、2019 年グランドオープン予定
 - ・阿須にある「トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園」を 2017 年度中にリニューアル予定

公共交通を取り巻く課題を解決するためには

◎地域公共交通に求められる役割の整理

地域住民の移動手段の確保

運転のできない学生・生徒や高齢者、障害者、妊婦等の交通手段の確保

住みよいまちの実現

様々な機能を持つ施設、拠点と、住居エリアを結ぶ交通手段

にぎわいの創出や健康増進

外出機会の増加によるまちのにぎわいの創出や「歩いて喜ばせるまちづくり」による健康増進

人の交流の活発化

観光客等の来訪者の移動性や回遊性の向上により人の交流を活性化

※参考資料：「人とまち、未来をつなぐネットワーク」：国土交通省

◎解決の方向性

地域公共交通の維持・改善は、移動手段の確保のみにとどまらず、まちづくり・観光・健康・福祉・教育・環境等、様々な分野で大きな効果をもたらすもの（地域活性化のための不可欠な地域の装置・社会インフラ）

民間事業者を中心とした従来の枠組みから脱却し、地域の総合行政を担う地方公共団体が中心となって、地域戦略の一環として取り組む必要がある

住みやすく、活力に満ちた地域社会の実現に向け、地域公共交通の再編を進める！！

「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする
地域公共交通網形成計画の策定・実施

地域公共交通網形成計画を策定するためには、皆さんのお考えや意見が必要となります。10月〇日から実施します、「公共交通」に関するアンケート調査にご協力ください！！